
2023 SBRK セミナーのご案内

主催：近畿耐性菌研究会

共催：関東化学株式会社

【テーマ】アフターコロナの耐性菌検査～PCR を用いた微生物検査の up date～

【日 時】令和 5 年 8 月 26 日（土）10 時～17 時 30 分

【会 場】京都橘大学 健康科学部（現地開催）

【定 員】48 名

【受講料】8,000 円

【日 程】

10：00～10：30 講義 1：PCR の基礎

講師：小林 美咲（関東化学(株) バイオケミカル部）

10：30～11：30 実習 1：DNA 抽出・試薬調整・PCR

11：30～11：50 実習 2：アガロースゲル作成

12：00～13：00 講義 2：ランチョンセミナー：耐性菌の最新情報

講師：鹿山 鎮男先生（国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター）

（休憩）

13：20～14：00 実習 2：アプライ、電気泳動、キャピラリー電気泳動

14：00～14：30 講義 3：耐性菌の検出法～表現型と遺伝子型～

講師：口広 智一（公立那賀病院 臨床検査科）

14：30～14：40 実習 3：染色

14：40～15：10 講義 4：微生物検査における遺伝子検査の活用

講師：仁木 誠（大阪公立大学医学部附属病院 感染制御部）

15：10～15：20 実習 4：脱色

（休憩）

15：30～16：00 実習 5：PCR 判定・結果の解釈

16：00～16：30 実習 6：MLST 解析（模擬実習）

16：30～17：00 講義 5：実習総括 & アフターコロナの耐性菌検査

講師：中村 竜也（京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科）

【研修会内容】

耐性菌の検査には表現型検査と遺伝子型検査があります。表現型試験は薬剤感受性検査やβラクタマーゼ阻害試験など、目で見て確認する検査法が主となりますが、明らかな耐性の発現があれば判定は容易ですが、わずかな発現や耐性機構の重複があった場合、表現型試験だけで検出することは困難な場合があります。遺伝子検査は耐性機構を司る耐性遺伝子を検出する方法であるため、そのような場合でも検出可能であり、慣れれば迅速かつ簡便に耐性菌検査を実施できる有用な検査法です。加えて、遺伝子検査による耐性菌の解析は院内感染対策においても有用となります。コロナ対策で様々な遺伝子検査機器が導入された施設が多いと思われますが、今後の遺伝子機器の活用法の一つとして耐性菌の遺伝子検査があると考えます。今研修会では実際に耐性菌の遺伝子検査について、実習を通して体験していただき、是非自施設における微生物検査運用の一つとして検討していただきたいと思います。

【申込み方法】

近畿耐性菌研究会 HP (<http://plaza.umin.ac.jp/~SBRK/>) の申し込みフォームより事前参加登録をお願いします。申し込みが完了しましたら、参加費のご入金をお願い致します。入金確認が完了した時点で参加申し込み完了となります。期限内に入金が確認できない場合は参加いただくことができない場合がありますので、予めご了承下さい。

【申し込み期間】

参加受付期間は、令和5年6月19日（月）～8月10日（木）です。締切日前でも定員になり次第受付終了と変更させていただく事がありますので、予めご了承下さい。

【懇親会】

研修会終了後、懇親会を開催する予定です。参加をご希望の方は、参加申込時にフォーム内にて合わせてお申し込みください。

【研修会事務局】

近畿耐性菌研究会 SBRK セミナー事務局

〒649-6414

和歌山県紀の川市打田 1282

公立那賀病院 臨床検査科

口広 智一

TEL : 0736-77-2019

FAX : 0736-77-7171

E-mail : tk_kensa@nagahp.jp